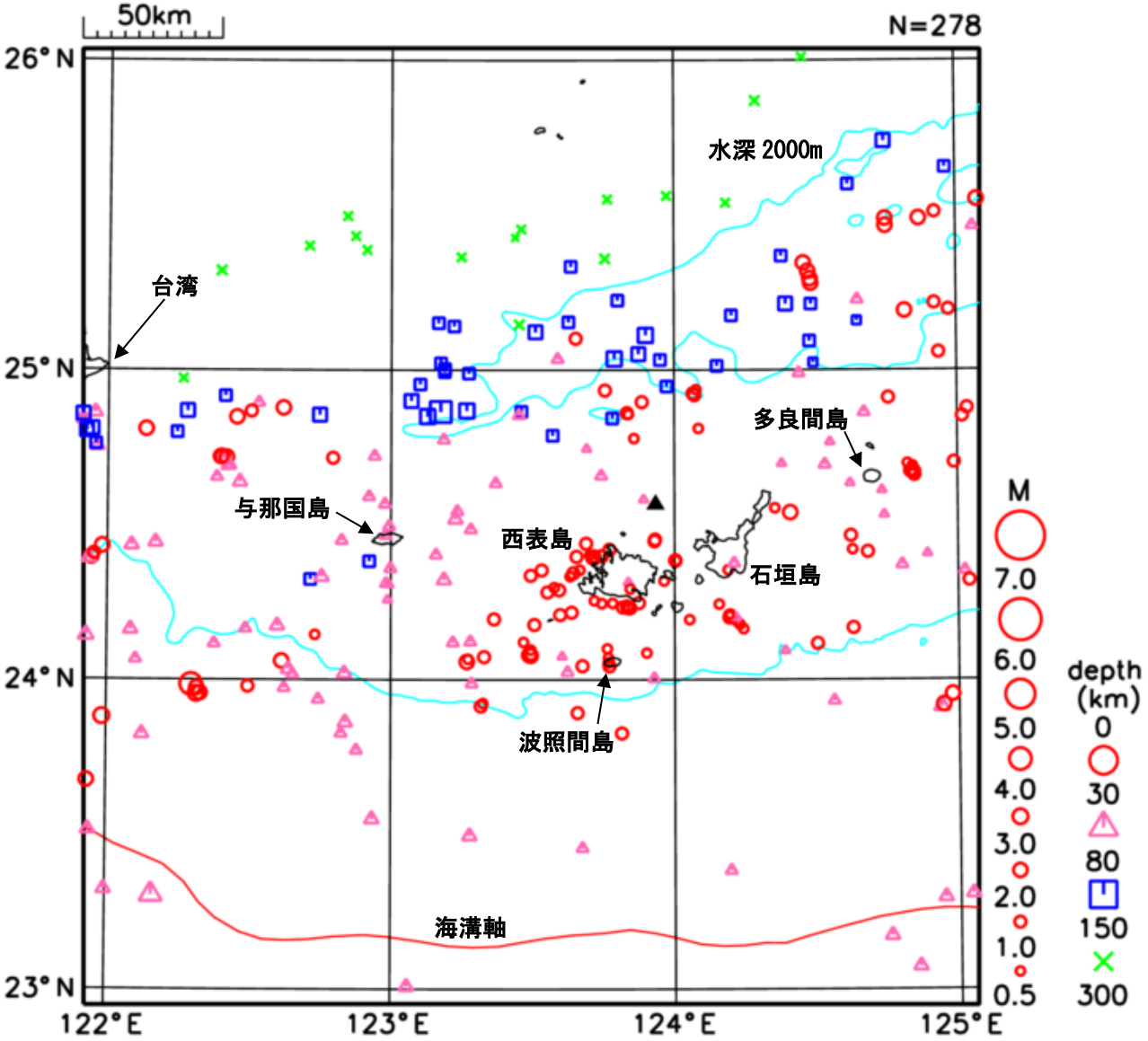
八重山地方の地震活動

令和7年(2025 年)6 月

石垣島地方気象台

震央分布図

2025 06 01 00:00 -- 2025 06 30 24:00



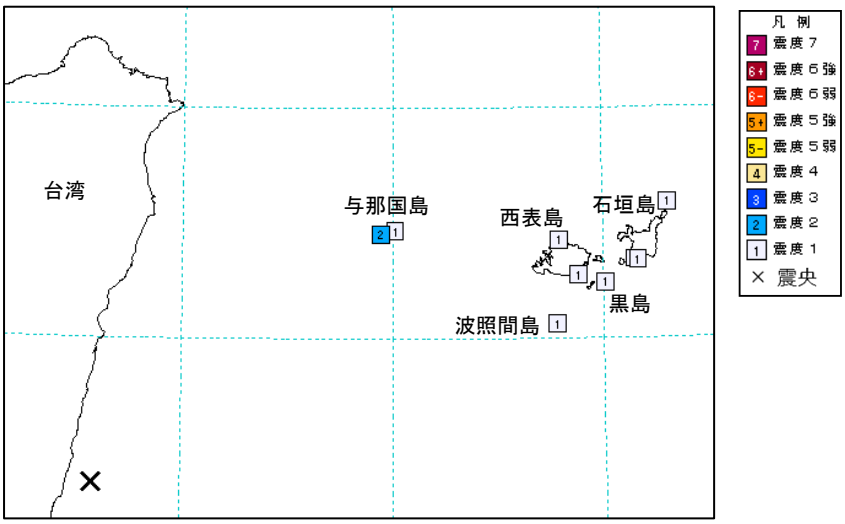
図中の記号　M ： マグニチュード　depth ： 震源の深さ
N ： 地震の回数(マグニチュード 0.5 以上の回数です)
▲ ： 活火山
八重山地方で震度1以上を観測した場合は、吹き出しで示しています。
水深 2000mの海底等深線は海上保安庁による

[概況]

今期間（６月）、震度１以上を観測した地震は１回でした（５月は１回）。

11日20時00分に台湾付近で発生した地震（M6.0、深さ38km、上図範囲外）により、与那国島で震度２を観測したほか、石垣島から与那国島にかけて震度１を観測しました（震度分布図および別紙参照）。

［震度分布図］



6月11日20時00分　台湾付近　深さ38km　M6.0

八重山地方で震度１以上を観測した地震一覧（期間：6 月 1 日～30 日）

震源時	震央地名	緯度	経度	深さ	規模
各地の震度					
2025 年 06 月 11 日 20 時 00 分	台湾付近	23° 22.6’ N	121° 35.2’ E	38km	M6.0
沖縄県	震度 2 ： 与那国町久部良				
	震度 1 ： 石垣市登野城, 石垣市平久保, 石垣市新栄町＊, 与那国町祖納, 竹富町大原, 竹富町黒島 竹富町波照間, 竹富町上原小学校				

＊の付いた地点は気象庁以外の震度観測点です。

※　資料中のデータについて

国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成している。

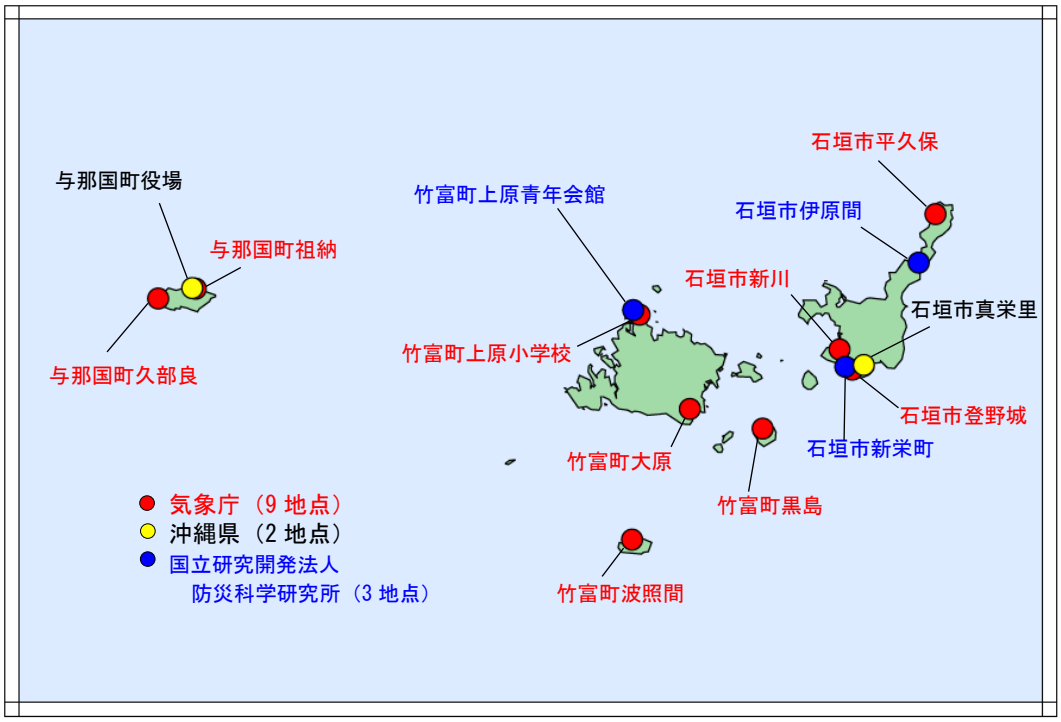
また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、EarthScope Consortiumの観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成している。

※　概況中の震源の深さについて

震源の深さは、精度がやや劣るものは表記しないことがあります。

※　データについては精査により、後日修正することがあります。

八重山地方の震度観測地点



※過去の地震活動は石垣島地方気象台のホームページで閲覧できます

URL　https://www.data.jma.go.jp/ishigaki/press/jishinkatsudo/jishin.html

※震度１以上を観測した地震の震度分布図は、気象庁ホームページ「震度データベース検索」をご覧ください。

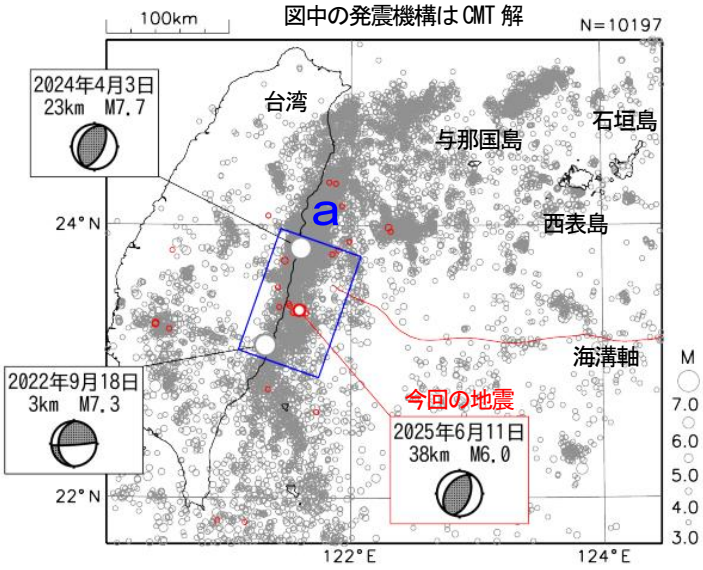
URL　https://www.data.jma.go.jp/eqdb/data/shindo/index.html

本件に関する問い合わせ先　石垣島地方気象台　0980-82-2170

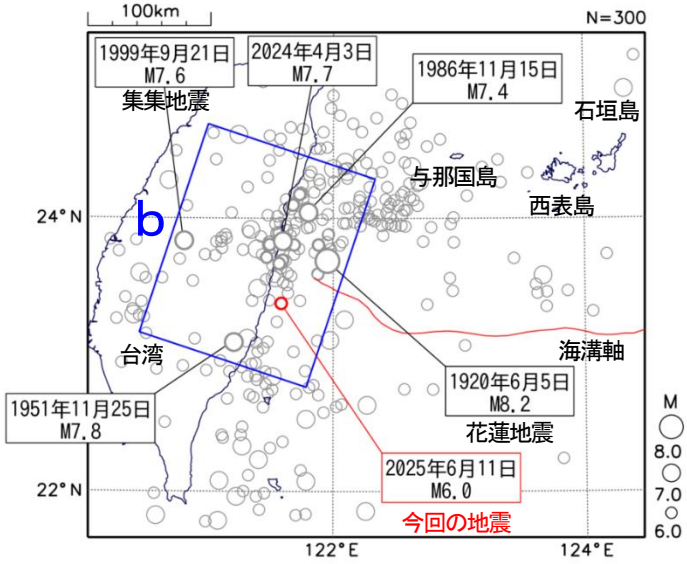
別　紙

６月 11 日　台湾付近の地震

震央分布図
（2009 年９月１日～2025 年６月 30 日、
深さ０～300km、M≧3.0）
2025 年６月の地震を赤色で表示
図中の発震機構は CMT 解

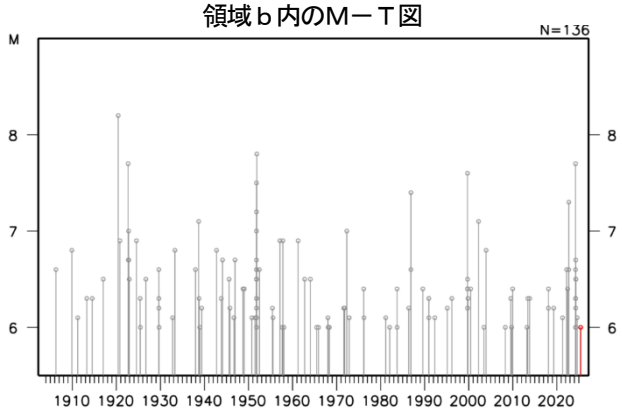


震央分布図
（1904 年１月１日～2025 年６月 30 日、
深さ０～100km、M≧6.0）



2020 年までの震源要素は ISC-GEM
2021 年以降の地震の震源要素は気象庁による

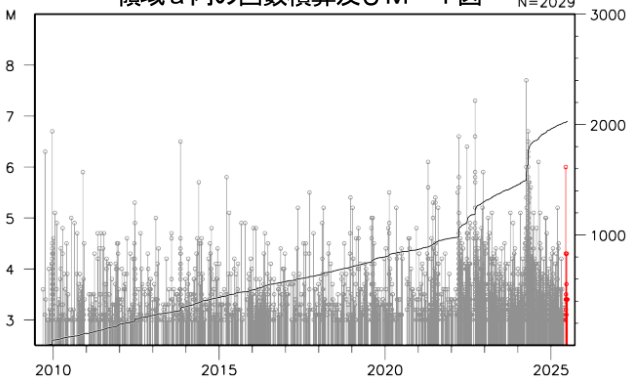
領域ｂ内のＭ－Ｔ図



2025年６月11日20時00分に台湾付近の深さ38kmでM6.0の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度２）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

2009年９月以降の活動をみると、この地震の震央付近（領域ａ）では、M6.0以上の地震が時々発生しており、2022年９月18日のM7.3の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度１）が発生したほか、2024年４月３日のM7.7の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度４）では、与那国島久部良で27cm、宮古島平良で25cm、石垣島石垣港で17cmの津波を観測した。

領域ａ内の回数積算及びＭ－Ｔ図



1904年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域ｂ）では、過去にM7.0以上の地震が時々発生している。1920年６月５日に花蓮地震（M8.2）が発生し、台湾では死者５人、負傷者20人などの被害が生じた。1986年11月15日のM7.4の地震（日本国内で観測された最大の揺れは震度３）により、宮古島平良で30cm（平常潮位からの最大の高さ）の津波を観測し、台湾では死者13人、負傷者45人などの被害が生じた。1999年９月21日に集集地震（M7.6、日本国内で観測された最大の揺れは震度２）が発生し、台湾では死者2,413人、負傷者8,700人などの被害が生じた。

（被害は、宇津及び国際地震工学センターの「世界の被害地震の表」による）

気象庁作成